



Q・戸別受信機の普及を

A・まず、デジタル化を進めていく

Q 防災行政無線の聞き取りやすさの調査の時期と結果は。

A 総務部長
今年度の8月に図上での音達検証を実施し、一部の地区で聞き取りにくい箇所があった。

Q 聞き取りにくい地区へ確実な情報伝達をするための取り組みは。

A 総務部長
避難勧告などの緊急性の高い情報は無線に加えて、携帯電話の緊急速報メールなどで補っている。

Q 防災行政無線の改修予定はあるか。

A 総務部長
今年度は最適なシステム選択および

運用などを整理し基本計画を策定する。来年度以降、基本計画を基に順次、移動系や同報系の実施設計、デジタル化更新工事を行っていく予定である。

Q 確実な情報伝達のため、デジタル化更新工事で戸別受信機の設定も考慮してはどうか。

A 総務部長
戸別受信機のメリットは天候に左右されず屋内で防災行政無線の情報を受けられる。しかし戸別受信機については過渡期であり、規格が統一されていないことや価格競争が働いていないことによりコストがかかる。そのため国の動向を注視しつつ、まずは防災行政無線のデジタル化を進めていく。

Q あいち航空ミュージアムおよびMRJミュージアムの休館日も火曜日に変更してはどうか。

A 産業建設部長
現在、航空館

boonは月曜日を休館日としている。あいち航空ミュージアムおよびMRJミュージアムとの連携を図ることから、両ミュージアムの休館日に合わせ火曜日に変更するよう前向きに検討する。

Q・航空館boonの休館日の変更を

A・火曜日の変更へ検討する



▲月曜日から火曜日へ